FACTBOOK English Logic and ExpressionⅡ［212桐原 論Ⅱ 714］観点別　教科書の特色

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内容の特色 |
| (1) 内容の選択・程度  ・学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材の用意 | ①特定の場面・状況・目的に基づいたスピーキング活動やライティング活動が豊富に収録されている。  ②文法事項を体系的に学習できるとともに，それらを言語活動で使用場面とともに学ぶことで，より定着を深めることができる。  ③Thinking Logicallyの課では，さまざまな型の文章構成を学習しながら，論理的なパラグラフを書く活動に取り組むことができる。  ④SDGsに関連する話題を随所に取り入れているため，多様な話題に触れることで視野を広げ，見方・考え方を深めることができる。 |
| (2) 構成・分量  ・学習指導を有効に進めるための構成・分量 | ①基本となるUnitは10あり，1学年2単位で指導できるよう配慮されている。  ②テーマごとに５つのPartから構成されており，さまざまな話題がバランスよく取り上げられている。  ③各Partが２つのUnitと1つのThinking Logicallyで構成されており，段階的に知識や技能が積み上がるよう工夫されている。  ④文法項目が体系的に配列されており，無理なく適切に学習することができる。  ⑤各Unitのライティングタスクでは，奇数課では意見文のパラグラフ，偶数課ではメールや要望書など，さまざまなテキストタイプのライティングを行うことができる。 |
| (3) 表記・表現および指導上の工夫  ・学習意欲を高めるための配慮  ・用語・記号の取り上げかたおよび記述のしかた  ・印刷や製本の配慮 | ①本文理解を助けるイラストや写真が効果的に配置されている。  ②スピーキング活動では，巻末に掲載されているInformation Cardを参照させることで，やり取りを促進させる工夫がされている。  ③モデルとなるスクリプトは，吹き出しで示すことで会話の流れが明確に示されており，各発言の機能（意図）も確認することができる。  ④ライティング活動では，3文，5文，8文を書く活動が段階的に用意されており，丁寧なステップが設けられている。  ⑤巻末のCommunication Strategies（表現集）を使って，コミュニケーションに役立つ表現を参照しながら言語活動に取り組むことができる。 |
| (4) その他  ・(1)～(3)以外の観点  ・総合的な観点 | ①スピーキング活動ではやり取りの後にReflectionコーナーが設けられており，生徒が自分の活動を振り返りながら主体的に学習することができる。  ②さまざまな背景を持つ高校生のキャラクターが描かれており，生徒は興味を持ちながら多様な考えに触れることができる。  ③各Unitの活動内で与えられる情報や，巻末のExplanation of Keywordsなど，トピックの知識をインプットするための支援が豊富に掲載されている。  ④QRコードから教科書本文の音声を聞くことができ，学習に役立てることができる。 |